

試合会場レポート

[試合番号]C4

[開催日]2018/2/1

[会場]日立市池の川さくらアリーナ

[観客数]1500

[開始時間]14:18

[終了時間]15:24

[試合時間]1:06

[主審]横須賀 威之

[副審]松延 亮一

[記録員]今泉 隆行

男子：決勝戦

霞ヶ浦高等学校

監督：岩崎 匡史

コーチ：染谷 佳紀

2	25	第1セット 【0:19】	20	1
	22	第2セット 【0:21】	25	
	25	第3セット 【0:20】	11	

勝田工業高等学校

監督：廣澤 学

コーチ：丸山 玲

【 】内はセット時間

戦評

新人戦決勝は霞ヶ浦高等学校と勝田工業高等学校の、それぞれ2年と16年ぶりの優勝を争う対戦となった。

第1セットは互いにレフトからの攻撃が中心で、僅差のまま展開する。終盤、霞ヶ浦は吉葉のブロックや田上のサービスエースなどで連続得点をあげる。その勢いそのまま霞ヶ浦がセットを先取した。

第2セットは序盤から霞ヶ浦が吉葉のレフト攻撃で勢いに乗り、勝田工が追う展開になる。しかし、勝田工はリベロ藤田の好レシーブから中村がポイントをあげて詰めよる。終盤、勝田工は外岡がレフトから決めるなど粘りのバレーで逆転。セットカウントをタイに戻す。

最終セット、霞ヶ浦は吉葉がレフトから内や外に流れて変化する攻撃でリズムをつかみ、一方的な展開となった。勝田工は両センター萩原、白田の速攻などで追いつくが大勢は変わらず、霞ヶ浦が2年ぶりの優勝を決めた。